

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み(条件づくり)	行動計画
田原校区民の合言葉は「絆」 孤立を無くし、みんなで助け合い、健康な生活を！	孤独死を「0」にする	高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 独居老人、老老世帯の増加(40～50代の独身者が多く将来が不安) 	<ul style="list-style-type: none"> 孤独死の発生 バスの大幅減便により買い物難民、交通難民が顕在化している 近所付き合いの希薄化 ふれあい・いきいきサロン等への参加者不足 老人クラブへの参加組織減少 	<ul style="list-style-type: none"> 隣近所による見守り班の設置(2～3人) ふれあい・いきいきサロン等への参加者を増やす(チラシ作成、招待状でのお誘い等) 地域行事への参加要請(敬老会等) 自治会役員、民生委員・児童委員、福祉推進委員で高齢者情報を共有 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉推進委員の設置 隣近所による見守り班の設置 見守り班による声掛け等、安否確認のお願い(最低月1回実施) ふれあい・いきいきサロン等の有り方を検討 見守り対象者の名簿作成(自治会長、民生委員、福祉推進委員共有) ふれあい・いきいきサロン、老人クラブ等の広報活動実施
	子供の声が響く地域づくり	子育て	<ul style="list-style-type: none"> 大人と子供の繋がりが希薄 通学路の危険箇所 子供の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 大人と子供の交流の場が少ない 通学路の危険箇所が数か所あり 人気のない通学路がある 	<ul style="list-style-type: none"> 夏祭り等、大人と子供のふれあいの場を設ける 登下校時の見守り実施 既存イベント(夏休み宿題塾、田原坂ウォークラリー等)への参加呼び掛け 地域全体での見守り活動 通学路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 子供と地域住民との交流イベントの実施(伝承遊び、ウォークラリー等) PTA、老人クラブ等を対象とした登下校時の見守り活動 既存イベント(夏休み宿題塾、田原坂ウォークラリー等)への参加拡大 自治会、PTA等で通学路の点検・草刈実施と自治体への整備陳情
	住み慣れた地域で暮らす	暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 地域の中での交流が希薄になってきている 少子・高齢化で人口減少が続いている 地域のリーダーとなるべき人が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 各地で実施されるイベントが減少している リーダーになった場合、負担が大きいのしかり、なり手が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 既存イベント(体育祭、敬老会等)への参加呼び掛け 地域実施のイベントへの支援 イベント等での住民協力体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 地域全員参加のイベントを多くする 地域実施の夏祭り等への自治会、住民の支援実施 地域リーダーの育成実施
	隣・近所・避難所・漏れ・地域を無で助け合い	防災	<ul style="list-style-type: none"> 危険箇所が判らない 各集落における避難援護が必要な人の把握 避難場所の把握 避難方法 防災意識の希薄化 送迎方法の問題 	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所の把握、周知が成されていない 要援護者は誰なのか、把握されていない 何処に避難すればいいのか どのようにして避難すればいいのか判らない 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ごとのハザードマップを作成 要援護者の名簿作成 避難方法の確認(送迎方法の明確化) 一次避難所として各集落公民館を活用 避難訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者の名簿作成と情報共有(自治会長、民生委員等) 一次避難は各集落公民館を活用 送迎方法を明確にする 緊急連絡カードを作成する 地域ごとのハザードマップを作成する 集落による避難訓練の実施